



笛吹市協だより かけはし



住み慣れた地域で
生活を支えるたくさんの手と、
夢のケアプラン

芦川大好き!
自分の家が一番!!

CONTENTS ～ 目次 ～

- P2 ▶ ● 平成 25 年度事業報告 / 決算報告
- P3 ▶ ● 住み慣れた地域での生活を
支えるたくさんの手
P4 P5 ～芦川大好き! 自分の家が一番～
- P6 ▶ ● 熱中症予防
～つながる・広がる声掛けの輪～
- P7 ▶ ● 倉嶋市長コラム「今日も桃源郷気分」
やってみるじゃん協力員養成講座
平成 27 年度正規職員募集
第 10 回フードドライブ寄付募集
善意の寄付・寄贈の御礼
- P8 ▶ ● 「ふえふき通信」

発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所／〒406-0822

笛吹市八代町南917 電話／055-265-5182 FAX／055-265-5183

広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 網倉義久

平成25年度 社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会事業報告

事業概要

笛吹市社会福祉協議会は、「こんなまちであつたらいいな 安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」をスローガンとして、地域福祉活動を行ってきました。

これからの地域福祉は、「新しい公」という概念のもと、「自助」「地域の共助」「公助（公的な福祉サービス）」という住民と行政の協働という枠組みの中で展開されており、社協は「地域の共助」という役割を具現化するために、平成25年1月に「発展強化プラン」を策定し、住民参加を得ながらさまざまな相談や支援などに対応した挑戦の1年でした。

「地域の共助」として、民生・児童委員との協働で8月には熱中症対策を行ない、把握したすべての高齢者・障がい者宅を訪問し、元気に夏を乗り切るお手伝いをすることができました。2月の大雪の際には、地域住民、区役員、民生・児童委員と協働して、孤立した住民への声かけ、雪かき、食糧支援などを行ない「地域の共助」が発揮されました。さらに、市の災害対策本部に設置された雪害ボランティアセンターで、市とボランティアと協働して、雪害対策に対応しました。他にも、地域の商店・JAなどとの見守り協定の締結や地域住民による「見守り隊」の発足など、「地域の共助」の基礎が強化されました。

デイサービスでは、寝たきりで介護度が重度な利用者、医療度の高い利用者なども積極的に受け入れました。また、ヘルパー部門でも在宅で生活するALSなどの難病の利用者を積極的に受け入れました。介護部門でこのような利用者の受け入れができる背景には、社協内外の研修会参加により職員の質の向上を図り、「どんな重度の利用者も断らない」という姿勢が共有され、より質の高いサービスが提供できるようになってきたことがあります。このような社協の特質を発揮して、他事業所との差別化を図ってきました。

組織の強化では、有期契約職員6名を正規職員として登用しました。さらに、管理監督職の任用制度により、新しい視点で時代に対応できる組織作りに取り組みました。

この他、障がい者支援や居宅介護事業所の活動は、広報かけはしやホームページをご覧ください。

25年度、重点取組事業

- 1 社協内各部署の連携による相談業務の充実
- 2 地域実態の把握と住民同士のつながりの発展
- 3 ボランティア活動への理解と参加促進
- 4 防災・災害に対応できる個人・地域づくり
- 5 必要な地域情報の整備と提供
- 6 介護保険事業の適切な運用とサービスの質の向上
- 7 子育てに関する研究に着手する

以上を着実に実践するため「笛吹市社会福祉協議会発展・強化プラン」の実行

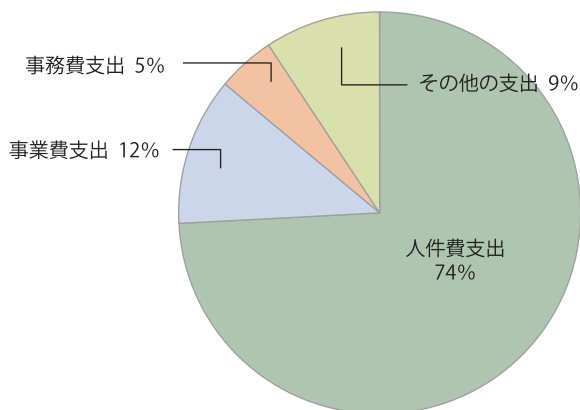
平成25年度 決算報告

(経理区分間繰入金収入・支出を除く)

支出

(単位：千円)

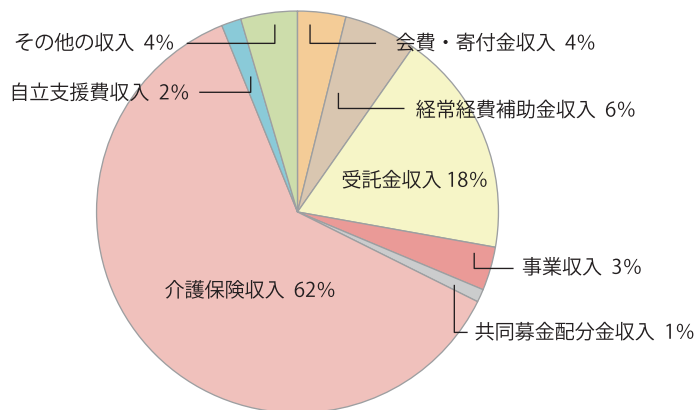
項目	H25決算額	H24決算額	前年比
人件費支出	562,733	558,748	3,985
事務費支出	35,198	35,744	▲546
事業費支出	90,291	92,419	▲2,128
その他の支出	70,642	61,145	9,497
計	758,864	748,056	10,808



収入

(単位：千円)

項目	H25決算額	H24決算額	前年比
会費・寄付金収入	31,480	20,500	10,980
経常経費補助金収入	47,563	49,154	▲1,591
受託金収入	146,930	148,420	▲1,490
事業収入	28,410	27,223	1,187
共同募金配分金収入	8,446	8,819	▲373
介護保険収入	499,819	509,314	▲9,495
自立支援費収入	12,901	11,811	1,090
その他の収入	36,949	19,544	17,405
計	812,498	794,785	17,713



平成27年度 正規職員募集!!

募集職種：総合職 2名・社会福祉士 2名・介護福祉士 2名

受付期間

平成26年7月28日(月)～8月13日(水)

詳細は
P7へ→

協社の役割

住民

笛吹社協

笛吹市

安心して暮らせる
幸せあふれる
まちづくり

地域づくり

福祉教育

災害対応

相談

住み慣れた地域での生活を 支えるたくさんの手

「芦川大好き！自分の家が一番!!」

今号のかけはしでは、ご家族・地域の方など様々な方の支援により、「**「ご自宅での生活」**」を叶えられた芦川にお住まいの宮川さんを紹介させていただきます。

芦川に帰りたい

宮川さんは昨年の春に転倒し足を骨折されました。自宅を離れ入院になりましたが「芦川大好き」「自分の家が一番」、その気持ちでリハビリに取り組みしました。いよいよ退院に向けての準備になりケアマネジャーにケアプランの作成を依頼されました。

当初はご夫婦ともにご高齢であつたこと、歩行が難しかったことから、在宅での生活は大変ではないかとケアマネジャーをはじめ支援者は考えました。しかし、本人の希望を実現するため、ご家族、親戚の方、地域の方の協力をお願いしケアプランを作成しました。

自宅で生活するために

退院後、芦川での生活を実現するために、宮川さんや奥様、入院中の病院スタッフ、退院後の生活を支援する在宅でのスタッフで会議が行なわれました。足の不自由な宮川さんが、安全に生活できるように、自宅内で支障となる段差の解消や福祉用具の活用を提案しました。奥様の介護負担の軽減についても話し合いました。宮川さんを中心に退院後の生活について準備が進められ退院の日を迎えました。

「やっと帰れるだね」

定期的に社協のケアマネジャーが様子を伺います。



宮川さんご家族

社協ケアマネジャー
雨宮



宮川さん

社協芦川地域担当
芦澤

奥様の弟さんもよく顔を出してくれます!

☆ケアマネジャーとは?☆

ケアマネジャーとは正式名称で「介護支援専門員」といい、介護を受ける利用者様とその家族の方の希望と心身の状態を考慮して、適切な介護サービスが受けられるよう計画を建てる人のことをいいます。



笛吹社協のケアマネジャーを詳しく知りたい方は
ホームページをチェック!

http://www.fuefuki-shakyo.or.jp/welfare/house_kaigo/

楽しいデイサービス

社協の八代デイサービスに週に2回通い入浴や歩行のリハビリを行います。デイサービスに通うことが毎週楽しみになり、笑顔も増えました!!



宮川さん

週に2回のデイサービスが今の楽しみ!

自慢の畑を見るのが日課



宮川さんが大事にしてきた畑です。

歩行器を使って畑に出掛けています。今は奥様を中心に、ご家族で畑をされています。

夢が叶いました!!

奥様の弟さんお手製の踏み台です!



家には手すり、段差の踏み台などが設置され、体の負担も少なく快適に生活できるようになりました。



皆のおかげで、夢が叶ったよ!



民生委員やご近所の方また、笛吹社協の職員が家に顔を出してくれます。

負担が少なく快適な生活

みんなが遊びに来てくれます!

自宅生活を目指した夢のケアプランができるまで

自宅での生活のプランを用意しました。



ありがとう! 頑張ります!

私が見てやれるかな?



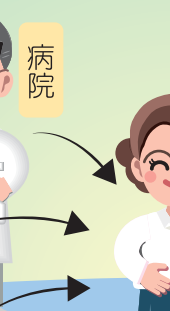
介護施設ではなく、芦川に帰りたい!

歩行器を使って生活可能です。

足が痛くても入浴できます。



ケアマネジャー



ケアマネジャー



ケアマネジャー

何かあればかけつけますよ!

ボランティア
見守り隊
民生委員
住民

定期的に伺いにいきますよ。

病院の送り迎えができます!

手すりをつけましょう。

介護用品業者

近所だから協力できるよ。スロープとか作れるものは作るよ。

親戚

親戚

親戚

まとめ

今回の支援を振り返って

Q 宮川さんが在宅で生活ができるようになった要因は何だと思えますか?

A ご本人の強い意思と努力があったこと、ご家族のサポート、地域でお互いに助けあう態勢があつたことだと思います。

Q 笛吹社協のケアマネジャーの特徴は何ですか?

A 特定事業所加算所得事業所であり24時間連絡体制、困難事例受け入れ体制を取っています。定期的な勉強会や、関連機関等と日々の情報交換もしています。宮川さんの場合も、事業所でアイデアを出し合い、情報交換を行ない、ケアプランを作成しました。

Q 最後に一言お願いします

A 笛吹市は、年を取ったり、介護が必要なたくさん住んでいます。困ったことがあつたらお気軽にご相談下さい。笛吹社協のケアマネジャーは、ご本人・ご家族の方にとって希望が叶う「夢のケアプラン」が作れるよう地域・各方面と連携し今後も取り組んでいきたいと思っています。



お問い合わせ

居宅介護支援事業所

〒406-0822 笛吹市八代町南 917

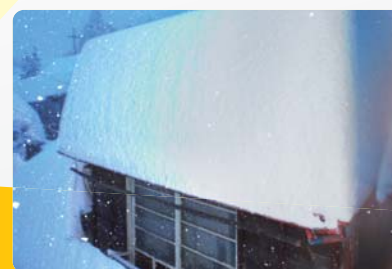
TEL: 055-265-5200/FAX: 055-265-4488

芦川地域事務所

〒409-3704 笛吹市芦川町鶯宿 466-1

TEL: 055-298-2170/FAX: 055-298-2172

芦川の雪の様子



今年の2月に起きた大雪の災害では宮川さんのご自宅も大雪で身動きが取れなくなっていました。しかし、芦川地域のボランティアにより、家の道はすぐに雪かきがされ、その後の雪害ボランティアにより凍結で壊れたガスメーターに修理することができました。

また、笛吹社協のケアマネジャーは、芦川への道路が遮断されてしまったので、電話での安否確認及び芦川地域の社協職員と連携を取り状況の確認を行いました。

介護をするうえで、災害は大きな不安要素になりますが、芦川地域では助け合いができ、『災害による不安』も乗り越えました。宮川さんご夫婦も元気に春を迎えることができました。

今回の大雪は改めて地域との連携の重要性を考えさせられる機会となりました。

コラム

災害時における自宅介護生活 大雪時の地域の支え合い

今年度も笛吹社協は 地域住民の皆さんと一緒に 熱中症予防に取り組めます!

今年の
ようす

地域の方に呼びかける
社協職員

つながる・広がる声かけの輪!

熱中症による健康被害は、毎年7～8月の間
が最も多くなります。しかし、熱中症は予防
をしっかりとすることにより、発生を減少させる
ことができるのです!

重要!

熱中症予防のポイント!

- ① 体調の変化に気をつけよう!
- ② こまめな水分補給を心がけよう!
- ③ 予防を呼びかけ合うこと、それが一番大事!



畑で声をかけ合う老人クラブ会員

水分補給を
心がけよう!!



老人クラブ

～圧倒的な組織力
で熱中症を撃退!～

高齢者団体の中核を
担う老人クラブ。日頃
の友愛訪問に加えて、
会員相互の声かけの
もと、熱中症被害の減
少に取り組んでいます!



声かけの輪が
広がってます!!

予防に一番大事な「**お互いの声かけ**」の輪が
広がるように、社協も全力で熱中症予防に
取り組みます。

笛吹市全体につながる・広がる声かけの
大きな輪を作りましょう!

民生・児童委員

～地域内の高齢者の
身近な相談相手～

日頃の訪問活動に加
えて、熱中症予防にも
協力頂いています!
「予防方法も分かりや
すく説明してもらい、
とても参考になった
よ。いい話を聞いたか
ら、私もみんなに教え
てあげないとね!」と、
住民同士の声かけの広
がりにもつながる訪問
活動になっています。



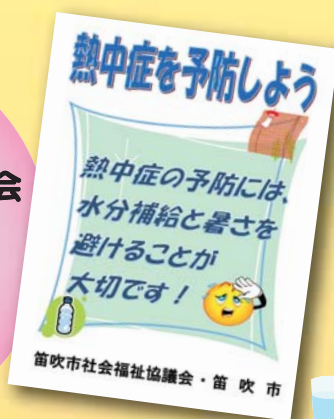
**熱中症(予防・対応)
のお問い合わせ**

笛吹市社会福祉協議会

各地域事務所

本所 :055-265-5182

笛吹市役所
高齢福祉課
健康づくり課



山を愛し、山に親しむ

山梨に越してきた理由の第一は桃源郷の風景だが、もうひとつ、「山梨に住んで登山三昧」。毎日山を眺めて、「思い立ったら即山頂」という日々は憧れた。この願いは、日々の生活に追われてあえなく挫折し、南アルプスを遠望してため息をついている。

それにしても、山梨で「登山が趣味」という人にはめったに出会わない。あまりに身近にあるものは、当たり前の存在として、関心が向かないということか。最近は意識して、山への関心を尋ねるようにしているが、登山の経験はもろろん、山の名前さえまるで関心がないという人が多い。誠にもったいない。富士山以外にも名山がたくさんあるのに。

まず北岳。日本第二の高さ(3193m)に加え、雪溪に岩稜、そしてお花畑と、山の魅力がぎゅっと詰まっている。ただ「来ただけ」ということには絶対にならない。

一部の山にはマイカー規制があるが、山梨の山登りにはマイカーを使いたい。思いつくところを3つ。まず瑞牆山(2230m)。増富ラジウム鉱泉の奥に聳える岩山で、アクセス2時間、登山3時間。次は入笠山(1995m)。花の時期がお薦めだが、GWや週末にはマイカー規制に注意。富士見パノラマリゾートのゴンドラで登るという方法もある。秋にお薦めは大弛(おおたるみ)峠(2360m)。日本最高所の車道峠とか。思い立ったら弁当と防寒具を持って出発。牧丘の杣口林道を走って、2時間後には峠に立てる。ただし、駐車場はないに等しいので、遅く行くと、峠の遙か手前に路上駐車を強いられ、延々と歩くことになる。

ふるさとの山々に自ら親しみましょう。いつも気持ちよく歩けるよう登山道をしっかり管理していきたいものです。訪れる都会の人たちに、桃源郷の豊かな自然を楽しんで頂きましょう。



倉嶋 清次

平成26年度 介護予防やってみるじゃん協力員養成講座 参加者募集

介護予防事業(やってみるじゃん)は、各地域の公民館活動へ広がってきましたので、これから自主的な活動につながる取り組みをしていきたいと思ひます。そこで、運営に携わる協力員の方の講座を開催いたします。

受付期間 平成26年度8月14日(木)～8月28日(木) **定員** 笛吹市在住 20名
養成講座終了後、介護予防事業(やってみるじゃん)の協力員として活動していただける方

日程 ※講義2日間、実習2回を1コースとする

①講義 1日目: 平成26年9月10日(水) 午前9時～午後4時
2日目: 平成26年11月上旬 午前9時～午前11時

②実習 2日間: 9月～10月、各地域開催(やってみるじゃん)現場実習

内容 <講義・実技> 高齢者の心と体、介護予防の現状、運動・認知症予防・栄養、口腔ケア・レクリエーション等 <実習> 各地域開催(やってみるじゃん)現場実習

場所 八代福祉センター

第10回フードドライブ寄付募集

「食」を必要とする方たちへお届けする食品を住民参加で集める取り組みとして「フードドライブ」を実施しています。ご家庭もしくは、職場に眠っている食品をご寄付ください。

【募集期間】
平成26年8月19日(火)～9月2日(火)

【寄付食品】
お米、レトルト食品、乾麺、缶詰など
●賞味期限が明記されていて1ヶ月以上あるもの
●未開封であるもの
●お米は常識の範囲内で古くないもの

【収集場所】
笛吹市社会福祉協議会各地域事務所

募集

平成27年度
社会福祉法人

笛吹市社会福祉協議会 正規職員募集

受付期間:

平成26年7月28日(月)から平成26年8月13日(水)

第一次試験日: 平成26年8月21日(木) 筆記試験

第二次試験日: 平成26年9月2日(火) 面接試験

【受験資格】

- (1)昭和59年4月2日以降に生まれた方
・総合職は、四年制大学を卒業又は、卒業見込の方
・社会福祉士は、社会福祉士の有資格者又は、資格取得見込の方
・介護福祉士は、介護福祉士の有資格者又は、資格取得見込の方
※詳細はホームページより正規職員採用試験要項をご確認ください。

【申込方法】

採用試験申込書は、笛吹市社会福祉協議会 総務課、各地域事務所にて入手するか、笛吹市社会福祉協議会のホームページ(下記URL)から入手してください。< <http://www.fuefuki-shakyo.or.jp/> >
※市販の履歴書不可

◇お問い合わせ◇



社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会 総務課
〒406-0822
笛吹市八代町南917 笛吹市役所八代庁舎1階
電話: 055-265-5182 / Fax: 055-265-5183

善意の寄付・寄贈の御礼

4月

雨宮 茂様 [一宮町] ▶商品券3,000円分

その他、石和町にお住まいの方より切手の寄付をいただきました。

6月

笛吹市御坂愛育班様 [御坂町] ▶金32,123円

株式会社 潤工社様 [境川町] ▶作業着(上着長袖)300着

御坂町にお住まいの匿名希望の方より地域活動推進のため、切手461,985円分をご寄付いただきました。
誠にありがとうございました。

ご協力いただきありがとうございます



「ふえふき通信」



**市民の活動を
紹介します!!**

ピアカウンセリング 「ひだまりサロン」

支援センター「ふえふき」にボランティアに来てくださる方から、「私たち、こんな活動をしていてもっと地域のの人に知ってもらいたいんです!」と相談を受けました。社協は市民の活動を応援する場所。それならかけはしに載せて活動を知ってもらいましょう!という事で、今回は地域で行われている市民活動「ひだまりサロン」についてみなさまにご紹介します。

ひだまりサロンって どんな沙龙呢?

ひだまりサロンは、ピアカウンセリングを基本にした憩い(癒し)の場です。「ピア」とは仲間、対等という意味です。決められたルールの中で、対等な立場で「時間」や「想い」を分かちあい、自分自身を見つめ、互いに認め合う場を提供しています。

参加者からのコメント!!

『近くに自分の悩みを聴いてくれる人や場所があればいいな・・・』とっている人。一度、顔を出してみてください。

話す内容は自分の話したいことのみで大丈夫です。お茶飲み気分で参加してみてください♪

みんなの話は経験に基づいているので、問題解決のヒント・きっかけになります。

ピアカウンセリングはお互い話を聞き合うので、自分も誰かの役に立っている気持ちになります。



活動を通じて人と人との繋がりを
作ることができると感じています。

地域に自分の居場所があると感じ合える、この活動を今後も続けていきたいです。

【障害者団体連絡会定期総会】

5月22日障がい当事者や家族の方が中心となり、定期総会を行いました。役割分担を行い、当事者が受け付けを担当。皆さんの活発な意見の中、今年度の活動目標が決定しました。

《今年度の活動目標》

①防災について ②制度・サービス等の勉強会 ③相談支援員とピアサポーターの啓蒙活動 ④交流について

昨年行なった、聴覚障がい者との地域防災訓練のDVDを見ながら、自分達から地区の防災訓練に参加しよう!という気持ちになれた総会でした。

今年も、障がい者当事者・家族の方と一緒に活動をしていきたいです。



ひだまりサロンに参加してみませんか?

地域住民のみなさん、民生委員のみなさん、大人も子どももどなたでもご参加いただけます。

*このサロンの話は口外されることはありませんので安心してください

活動内容

日時：第3土曜日 AM 10:00 ~ 12:00

場所：八代町働く婦人の家

内容：ピアカウンセリング体験と茶話会

参加費：10円(資料コピー代)

助言者：寺谷隆子先生 (山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科特任教授)

大塚ゆかり先生 (山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科准教授)

※助言者は毎回参加いただけるわけではありません

きっと、ホカホカの心をお持ち帰りできます。
お待ちしております。

お悔やみのお知らせ

「かけはし34号」に登場して頂いた佐野慶子さんが、病氣療養中のところ、6月1日に急逝されました。

佐野さんは地域の仲間と社協の活動を通じて、障がい者でも使いやすい駅を目標に石和温泉駅エレベーター設置の運動を行なったり、障がい者であつても安心して働ける就労の場作りに向けて活動したり、障がい者の住みやすい地域作りのために、頑張っていました。ここに、謹んで哀悼の意を評し、ご冥福をお祈り申し上げます。



お問い合わせ

障害者地域活動支援センター「ふえふき」

TEL: 055-263-1777